

2021年度（公財）加納美術振興財団事業計画（案）

2021.2.23 作成

- 2018年度より5年間、安来市より安来市加納美術館の管理者候補に指定され、協定に基づき美術館の管理運営と収蔵品の保持・保存業務を行うとともに、安来市をはじめ地域文化芸術の掘り起しと振興に努める。
- 加納莞菴のフィリピン戦犯釈放運動を通して確立されたキリノ大統領の「平和を希求するモラル」を、各種諸団体・個人と協力して世に広める活動をする。
加納莞菴の外国との往復書簡を安来市の文化財指定に向けて進める。
また、ユネスコ「世界の記憶」登録再申請に向けて、安来市教育委員会、島根大学関係、フィリピン関係団体等の協力を得て進める。
「加納莞菴平和国際交流基金」の運用も継続させる。
なお、文部科学省検定教科書中学社会（歴史的分野）に莞菴の平和活動・嘆願活動が取り上げられたことを端緒に、莞菴の活動が周知される機会を積極的につくる。
- 当館の収蔵する陶磁器、日本画、油彩、墨彩画、水彩画、書、彫像、彫刻の美術作品の展示、保存管理及びそれらに関する学術研究、講演会を実施する。
- 展示及び講演会などの宣伝・啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、電柱広告、安来市広報誌、SNS、YouTube などにより行う。
- 2021年度は次の企画展及びイベントについては次の通りである。
2020年10月から開始（準備期間も含む）した改修工事は、5月中に完了予定。
 - 企画展
 - 6月19日（土）～7月12日（月）
企画展 「安来の美術を作った人々」（仮）
 - 7月17日（土）～9月6日（月）
企画展 「五味太郎絵本原画展」（仮）
 - 9月11日（土）～10月18日（月）・・・前期
10月23日（土）～11月23日（火）・・・中期
11月27日（土）～12月23日（木）・・・後期
企画展 「この史代まんが原画展 『この世界の片隅に』」（仮）
 - 2022年1月12日（水）～4月4日（月）（未定）
加納溥基コレクション展 他
 - 通期 『加納莞菴』展、『名碗』展 等
 - イベント
例年行っている名碗会の開催については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、現時点では企画せず、収束に向かった場合再考する。また、各企画展にあわせた講演会、ワークショップ等のイベントも、同様な考えとする。

③ 次年度の企画展について

一般財団法人地域創造「令和3・4年度市町村立美術館活性化事業」により、第22回共同巡回展 『土門拳記念館所蔵 土門拳写真展—真実を見つめる眼（仮称）』に参加することが決まった。
（巡回館 安曇野市豊科近代美術館、八幡市美術館、直方市美術館、当館
開催時期 2022年度 詳細は未定）

- 美術館のサービス向上『癒しとくつろぎのある美術館』を目指して—
 - 従来行っていた来館者への茶菓、抹茶のふるまいは、5—②同様とする。
 - 音声・映像ガイドの導入を検討する。
 - アウトリーチ（出前授業 講演）を行う。
 - 新型コロナウイルスなど感染症の拡大防止に十分に配慮する。
- 館の運営
 - 次世代を託せる学芸員を確保する。
 - ボランティア、サポーターの支援によりイベントをスムーズに運営する。
 - 各種ファンド、補助金制度などの利用
一般財団法人地域創造「令和3・4年度市町村立美術館活性化事業」における助成金が当館に交付される（展覧会終了後精算）。
- 地域振興事業の推進
 - しまねミュージアム協議会、県内文化協会、文化事業団体などと連携する。
 - 市内文化施設や交流センターなどとの連携により、地域の芸術、文化振興を図る。
 - 教育委員会等と連携して児童生徒の美術、道徳、平和教育の支援、また「平和学習」を目的とする修学旅行生の訪問先として当館が選択されるよう働きかける。
 - 加納莞菴のフィリピン戦犯助命嘆願活動における往復書簡（約300通）の安来市文化財指定及びユネスコ「世界の記憶」登録再申請のための研究と準備を行う。
 - 11月に予定されている演劇『奇跡の邂逅 加納莞菴物語』の上演に協力する。
- 作品、建屋、設備機器の修復
 - 作品台帳のデジタルデータベース化を行う
（外部業者によるデータベースシステムを導入）
 - 作品修復（シミ、カビ、破れなど5点程度）
 - 道路看板の整備修正
 - リニューアルによる温調、調湿機の運転による適正な展示環境づくり
 - 庭園の手入れ（除虫、除草の徹底）
- その他
 - 戦犯助命嘆願関係書類の整理・保存
 - ①について、学術研究をすすめるため、大学および研究者等の協力を得る。